

# 九州大学 大型計算機センターニュース

No. 248

福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号  
九州大学大型計算機センター  
広報教育室(TEL092-641-1101)  
内線 2505

## 目 次

1. プログラム相談員の募集について	1
2. マスストレージの年度更新手続きについて	1
3. 計算サービス時間の変更について	2
4. 画像処理用カラーディスプレイ装置 Graphica I-5000 の導入について	3

### 1. プログラム相談員の募集について

当センターでは、利用者のプログラム技術の向上のために、毎日午前 10 時から午後 5 時（土曜日 10 時～12 時）までプログラム相談を行っています。相談員の任務は、質問者への助言、指導が主な役割です。つきましては、下記により昭和 57 年度のプログラム相談員を募集しますので、多数の方々の参加及び協力をお願いします。なお、定員に達ししだい申し込みを締め切ります。

#### 記

- ・募集人員 10 名
- ・応募資格 センター利用有資格者
- ・担当時間 週 1 回（2 時間）
- ・任 期 昭和 57 年 4 月～昭和 58 年 3 月
- ・特 典 指導用計算時間 年間 120 分（CPU 時間）
- ・申込み先 九州大学大型計算機センター  
(共同利用掛 電(内) 2505)
- ・申込期限 昭和 57 年 3 月 13 日(土)まで

### 2. マスストレージの年度更新手続きについて

昭和 57 年度もマスストレージ（MSS）を引き続き利用される方は、共同利用掛まで電話で御連絡下さい。なお、取消をされる方は早目にマスストレージ取消申請書を提出して下さい。

注1) 科学研究費で利用している課題の年度更新はできません。

注2) 課題の年度更新がなされていない場合は認められません。（年度の初め 1 週間後に消去します。）

(共同利用掛 電(内) 2505)

### 3. 計算サービス時間の変更について

3月1日から5月31日までの計算サービス時間を下記のように変更します。又、3月31日から4月4日まで年度末処理及び機器増強のために計算サービスを停止します。

なお、3月15日から夜間無人運転システムの運用を開始しますので、オープン入出力・出力検索用端末及びオープンステーションの利用は16時45分（土曜日は12時）までとなり、オープンパンチ室の利用は17時（土曜日は12時）までとなります。

#### 記

業務項目 \ 利用時間	3月1日 ~ 3月13日	3月15日 ~ 3月30日
オープン入出力 出力検索用端末 オープン磁気テープ グラフィックディスプレイ 紙テープ OCR フロッピーディスク キーボード TSS RJE ネットワーク	月 12:30~20:00 火~金 9:30~20:00 土 9:30~17:00  注) 3月13日(土)は、MG の検査のために12時で計 算サービスを停止します。	月 12:30~16:45 火~金 9:30~16:45 土 9:30~12:00  月 12:30~20:00 火~金 9:30~20:00 土 9:30~17:00 注) センター内TSSについて は土曜日のみ16時で終了 する。
オープンパンチ室	月~金 9:30~20:00 土 9:30~17:00	月~金 9:30~17:00 土 9:30~12:00

業務項目 \ 利用時間	4月5日 ~ 5月31日	備 考
オープン入出力 出力検索用端末 オープン磁気テープ グラフィックディスプレイ 画像処理装置 紙テープ OCR フロッピーディスク キーボード	月 12:30~16:45 火~金 9:30~16:45 土 9:30~12:00	

業務項目	利用時間	4月5日～5月31日	備 考
センター内 T S S ハードコピー装置	月 12:30~20:00 火~金 9:30~20:00 土 9:30~15:00		ハードコピーのサービス時間は 月~金 16:45~20:00 土 12:00~15:00
センター外 T S S R J E ネットワーク	月 12:30~22:00 火~金 9:30~22:00 土 9:30~17:00		
オープンパンチ室	月 12:30~17:00 火~金 9:30~17:00 土 9:30~12:00		

- 備考 1. 滞在者控室とプログラム相談の時間は従来どおりです。  
 2. 毎週月曜日12時30分まで計算機システムの保守を行います。  
 3. 3月15日より夜間無人運転システムで運用しますので、16時45分以降（土曜日は12時）はオペレーターが不在になります。従って、システム障害が発生した場合には、その時点で計算サービスを停止します。又、電話による問合せ等も16時45分（土曜日は12時）までとなります。

（業務掛（内）2518）

#### 4. 画像処理用カラーディスプレイ装置 Graphica I-5000の導入について

リモートセンシング、X線写真処理など計算機によるデジタル画像処理では、画像を陰極線管（CRT）上にカラーで表示する装置はなくてはならないものである。センターでは、これまでこのCRT装置がなかったが、利用者からの要望に応じて、このたび標記の機器を導入した。Graphica I-5000の主な仕様は、下記のとおりである。

画面サイズ	20インチ
表示画素（ピクセル）	512 × 512
濃 淡 階 調	RGB各色256
リフレッシュメモリ	4面分（512×512×8ビット×4組）
オプション	トラックボール カメラフード（ニコン用）

I-5000は、ホスト計算機FACOM M-200に直結されていて、ホスト計算機のプログラムによって動作する。I-5000用Fortranサブルーチンパッケージは、次の2種類が用意されている（これらのマニュアルは、センター図書室にある）。

- ・ IPSP (Image Processing Subroutine Package)
- ・ GDSP (Graph Display Subroutine Package)

このほか、Brigham Young Univ. で開発される3次元曲面処理機能をもつ有名な図形処理用サブルーチンパッケージMOVIE BYUが使用できる。

現在、I-5000はセンターでテスト中であり、まもなく利用者に公開する。利用方法は、現在のグラフィックディスプレイと同様な方法になると思われるが、詳細は決まりしだいお知らせする。

IPSP及びGDSPについては、使用法をセンター広報に掲載する予定であり、9月には講習会の開催を計画している。I-5000の使用を御計画の利用者は、研究開発部データベース研究室（電話内線2507）まで御連絡いただきたい。なお、MOVIE BYUについては同部ネットワーク研究室（電話内線2501）に問い合わせていただきたい。

画像処理のためには、CRTのほか、画像をデジタル化する装置及びデジタル画像を写真にする装置が必要であるが、予算の関係で、これらの導入は来年度以降に考えたい。

（研究開発部データベース研究室 電（内）2507）